

大分大学教育学部同窓会

豊友会 竹田市支部

同窓会報

創刊 昭和56.2.16
第71号2022.7.15発行
事務局 62-2348

竹田市支部会長

早川

和

(竹田地区 S35年卒)

私の辿ってきた道

1月14日の支部評議委員会において、菅会長の後をうけ、新会長となりました早川和(たかし)と申します。よろしく願います。

さて、私の辿ってきた道を紹介し、ご挨拶いたします。

その昔、旧日本軍連隊跡の兵舎を改造した校舎の一角で、大分大学学芸学部の入學式が行われました。

私は、美術科合格者12名と共に式に参列いたしました。教授各位、武藤完一、浜田九一郎、仲町謙吉等々のお歴々が揃っていました。

大学の講座の魅力に惹かれ、はじめに受講していましたが、二年三年経ち、ある講座の単位がとれず欠点となりました。しかし、S教授に講座の特設をお願いし、何とか卒業単位の習得ができました。その後、教員採用試験をへて、直入町の長湯中に採用されました。以来、竹田市を中心に教職の道をたどり無事退職にいたしました。

教職生活を通じて、美術の時間に生徒の似顔

絵を描かせていただき、その数は三千余枚にのぼります。

教職を去っても絵かき人生は続いています。石仏を中心に一水会への出品を続け、地元殿町自治会長を20年余りつとめたりもしました。これも大分大学学芸学部、豊友会の仲間の支えのおかげと感謝しております。

今回、この会のお世話をする事となり、恩返しができると思っております。微力ですが、精一杯がんばる所存です。ご協力ご支援よろしく願います。

新役員の紹介



副会長

金丸

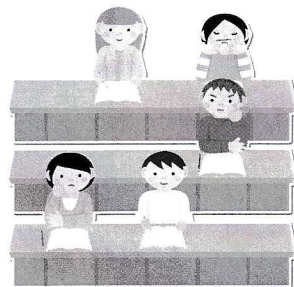
加代

(菅生地区 S51年卒)

大分大学に入學してから50年が過ぎました。足どりで軽く登ったあの坂道も、今では到底無理でしょう(笑)懐かしいキャンパスにも、もう40年も訪れていませんでした。

ところが、この度、副会長というお役目をお任せとなりました。「豊友会」が少しでも身近に

感じられるよう活動の充実に向け微力ながら努力してまいります。どうぞよろしく願います。



本年度役員

◇会長 早川 和(竹田)

◇副会長 重石 親雄(入田)

◇金丸 加代(菅生)

◇監事 鎌田 哲夫(竹田)

◇菊池 正次(玉来)

◇幹事 桑島 真弓(祖峰小)

◇後藤 辰憲(白丹小)

◇山下 修(祖峰)

今後の事業計画

○7月末：県会報No.1・支部会報発行

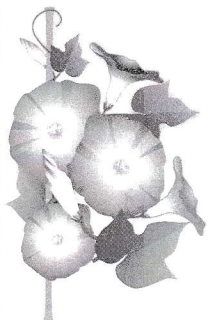
○7月末～9月初旬：同窓会費徴収(千三百円)

○11月初旬：第2回役員会

○1月下旬：支部評議員会

○2月25日(土)：支部定期総会・講演会

○3月：県会報No.2・支部会報臨時号発行



長寿会 員 紹 介

今年度、めでたく長寿のお祝いを迎えらるる会員の皆様です。

おめでとうございます。

○白寿会員99歳（1名）

森田 恭子（大正13年3月28日 長湯）

○卒寿会員90歳（4名）

広田 敦（昭和7年12月10日 玉来）

稗田 義光（昭和7年12月27日 竹田）

内田 雄喜（昭和7年12月29日 豊岡）

後藤 和芳（昭和7年12月30日 松本）

○米寿会員88歳（4名）

大久保昭俊（昭和9年5月2日 都野）

足立 見嘉（昭和9年11月21日 竹田）

田辺 晃代（昭和10年2月24日 都野）

麻生 敏三（昭和10年3月18日 城原）

○喜寿会員77歳（3名）

後藤 淳一（昭和20年4月22日 大分）

重石 親雄（昭和20年10月9日 祖峰）

一宮八重子（昭和21年1月21日 松本）

今年度の名誉会員（88歳以上）は、30名です。

広田先生は、大学卒業後、竹田市内の小・中に勤務しました。退職後、竹田市の歴史資料館専門員となり、竹田市の文化財をはじめ、古代ローマや古代ギリシャまで興味関心を広げ関する本も執筆しておられます。今回は、ふたつの遺跡を紹介すること、わたしたちに何かを問いかけています。

「ルーマニアの二つの文化財は？」



卒寿会員 広田 敦

（玉来地区 S30年卒）

ルーマニアのヒストリア遺跡は今に何を伝えているのだろうか？黒海沿岸にある古代都市の遺構で、紀元前657年にギリシャ人によって造られている。小アジアとの貿易で栄え、この

繁栄はローマ時代に引き継がれている。3世紀には、ゴート族の侵入で破壊されたが、復興している。6世紀にも、スラブ民族の侵入を受けたが、復興を遂げている。

ところが7世紀後半、港が土砂の堆積で使えなくなり、周囲の地形変化と共に船の運行が難しくなり、町は放棄されている。地の利を生かし町は発展繁栄を誇ったが、自然の力を克服できなかったのである。



ルーマニア 野外村落博物館

もう一つは野外村落博物館で、吸血鬼ドラキュラの居城のモデルで有名なブラン城のあるブラン村に設けられている。ハンガリー人の少数民族が強制移転後、残された家を移築展示している。家畜小

屋、夏の台所と庭での食事場所、母屋の天井には乾草が保存されている。この人達は生活用にと与えられた個人用の土地で、近郊農業を行い、生活が豊かになっている。同じ農業をする人達との間に格差が生じ、他の地域への移住を強いられる。これが革命の発端となり、1989年12月に蜂起し、チャウシエスク政権を崩壊させ自由化を実現している。強制移住に応じなければ村落まで破壊し、抑圧的な支配を行った政権は自由化の波に抗うことができなかったのである。

2つの文

化財は今何を伝えてくれるのだろうか。教えられ、考えさせられる。



ヒストリア遺跡

新任現役会員の声

新任校長紹介

新任校長として



竹田市立

白丹小学校校長 後藤 辰憲

(昭和63年3月卒)

またこの雄大な久住の山を見ることができるようになるとは・・・今年4月着任した時に最初に感じたことでした。

今回で4度目の白丹小学校勤務となります。今年度は全校児童13名と少人数ですが、「楽しい学校 大好き白丹ー自ら学び 認め合い共に生きる白丹っ子ー」を教育目標としてさまざまな活動にとりくんでいます。以前勤務していた時との違いは放課後児童クラブが再結成されていたことです。再結成にむけて尽力されていた当時の校長先生の姿を思い出し感慨深いものがありました。

地域のみなさまや保護者の方々のお力も借りながら教職員が一丸となって子どもたちの教育に邁進していきたいと考えています。



竹田市立

荻小学校校長 後藤 秀成

(平成4年卒)

出身 豊後大野市三重町

4月、大分市の大在中学校から荻小学校に新任校長として赴任しました。竹田市での勤務は

初めてです。

私の学校経営の基本方針は「安心・安全で楽しい学校づくり」と「教職員の和」です。本校の校訓である「考える力・やさしい心・たくましい体」を基本に学校教育目標「心豊かでたくましく、未来社会を創造し、郷土を愛する児童の育成」みんなで学びに向かうたのしい学校「Chance Challenge Change」を設定しました。「明日も行きたくなる学校・明日も通わせたい学校・明日も勤めたい学校・地域に愛される学校」をめざして日々「ALL FOR CHILDREN」で学校経営を進めています。教職員には「一人職を大切にし、何でも話せる・頼れる風通しの良い職場、そして、頑張りを認め適宜評価する働き甲斐のある職場づくり」を目指します。

何事も前向きにとらえ、持ち前の明るさと情熱を前面に出し、荻小学校の子どもたちの明るい未来のために全力で頑張りますのでよろしくお願ひします。

新採用者紹介

教師になつて感じたこと



竹田市立

豊岡小学校教諭 河原 尚平

(令和3年卒)

出身 佐賀県武雄市

今年の4月、小さい頃からの夢であった教員として働けることに、ワクワク感と少しの不安

を抱き、赴任先の小学校に行きました。赴任先の小学校は、自然が豊かで全校児童が30人程度ととても小さな学校でした。教員人生初めてのこの学校で、どんな生活ができるのかなと想像し、さらにワクワクしたのを覚えています。

始業式の日、子どもたちと出会い、担任としての仕事が始まりました。当初は、私も子どもたちも互いに緊張していましたが、月日が経つごとに子どもたちとの距離も縮み、徐々に個性や特性を理解することができています。

私が目指す学級は、子どもたち全員が学校に行きたいと思うような居心地の良いクラスです。子どもたちを一番に考え、担任として何ができるのか、どんな支援が必要なのかを常に考えることが大切だと考えます。学級担任として、子どもたちの成長のサポートをしながら、私自身も一人の教員として成長していきたいです。

編集後記

私は退職後、今までと違うことをしてみたいと思い、「司書資格」を取得し、図書館司書として学校に三年間勤務した。教員とはちがう視点から学校を見ることができ、先生方の苦労や現在の学校の置かれている状況を改めて知るなどいい経験をした。以前の学校と比べ、学校現場は非常に忙しくなっていることも感じた。先生方はやらなければならないことが多く、日々大変であるのが、私の好きな「相田みつを」の言葉に『ひとつひとつ かたづけてゆくんだね 具体的にね』というものがある。大変でもひとつひとつ片づけていくなさそうである。

(O.Y)

豊友会について

まよいました。

CHECK!

1 名称

豊友会(大分大学教育学部同窓会) 学部の再編にあわせて名称を検討し変更してきました。

- ・昭和28年 「大分大学学芸学部同窓会」
- ・昭和41年 「大分大学教育学部同窓会」
- ・平成11年 「大分大学教育福祉科学部同窓会」

・平成17年「豊友会」に変更し現在に至る。
平成28年度から実践型教員養成機能強化のため学部名を大分大学教育学部と改める。

令和元年度総会において会名変更「大分大学教育学部同窓会 豊友会」とする。

2 目的及び事業

本会の目的は、「会員の友誼を温め母校の発展充実に努め、大同団結して教育・文化の振興、共生社会の実現に資することとし、会員相互の親睦(会員の名簿・機関紙の発行、講演会・懇談会の開催、

母校経営に関する後援、研究に対する援助、関係団体との連絡提携などの事業を進めております。

3 現在の活動の主なもの

○本部の活動

- ・総会 毎年5月中旬、前年度の総括と新年度の事業計画
- ・会報の発行年2回
- ・大学との交流事業
- ・会員名簿の作成
- ・外国人学生との交流事業
- ・大学への研究援助
- ・講演
- ・記念事業など

○支部の活動

- ・総会と講演会、竹田支部会報の発行など。

4 現状と課題

明治9年創立以来(同窓会とは同28年発足)2万7千名余りの卒業生のうち、現在、1万余の同窓生が県内外で活躍しております。学部の特殊性から大分県内での就職が多く、県内に26支部の組織がで



きておりますが、県外にも関西、関東、熊本、福岡、宮崎の5支部が出来ています。竹田市支部としましても現在、歴史と伝統ある同窓会(豊友会)の目的及び事業(上記2)の達成のため連携を一層強化したいと考え取り組んでいるところで

す。
以下のことを参照の上ご協力をお願いいたします。

(1) 会費

・年1,300円(本部費:800円
支部費:500円)

- ・毎年2回発行している会報『豊友会会報』をお届けする際に集金します。
- ・活動の様子や同窓会の情報についてもお知らせいたします。

(2) その他

・県豊友会ホームページ(大分大学教育学部同窓会 豊友会)も開設していますので、各種情報をご覧ください。